

※数値は左から2019年度→2020年度→2021年度

＜生徒編＞

（肯定的意見：「とてもそう思う」・「そう思う」を合計した数値）

◆学校生活への肯定的意見の推移

1 「学校へ行くのが楽しい」	87 %→ 89 %→ 84 %	（とても： 55 %→ 48 %→ 43 %）
2 「学校には多くの友達がいる」	86 %→ 83 %→ 84 %	（とても： 51 %→ 49 %→ 46 %）

肯定的な意見が伸びていない結果については、少なからず、コロナ禍による学校生活の変化や不安も関係していると思われる。行事の延期や中止、縮小を余儀なくされている中で、友人とのつながりも薄れ、学校自体も以前より楽しく感じなくなっているようにも読み取れる。

◆学習への肯定的意見の推移

3 「学校は落ち着いて学習できる雰囲気がある」	72 %→ 67 %→ 58 %	（とても： 25 %→ 26 %→ 22 %）
4 「一般的に授業はわかりやすく楽しい」	79 %→ 81 %→ 81 %	（とても： 23 %→ 35 %→ 24 %）
6 「学習の分からないところについて、先生や友達に質問しやすい」	84 %→ 84 %→ 82 %	（とても： 42 %→ 49 %→ 46 %）

落ち着いて学習できる雰囲気が低い傾向に出ている。授業はわかりやすく、楽しく、質問もしやすいが、もっと落ち着いた雰囲気での学習をしたいと考える生徒が増えてきたとも考えられる。今後、この結果を生徒とともに共有し、落ち着いた雰囲気の中で学習できる学校づくりや授業づくりが課題である。

◆生徒と先生のかかわりに関する項目の推移

5 「先生は、学習で自分が努力したことを認めてくれる」	84 %→ 75 %→ 80 %	（とても： 36 %→ 40 %→ 33 %）
11 「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる」	80 %→ 71 %→ 67 %	（とても： 42 %→ 42 %→ 40 %）
12 「先生はいじめや暴力など私たちが困っていることについてよく対応してくれる」	78 %→ 68 %→ 64 %	（とても： 38 %→ 39 %→ 28 %）
15 「学校での生活指導はきちりしている（主に遅刻指導、忘れ物・提出物等について）」	86 %→ 78 %→ 80 %	（とても： 42 %→ 40 %→ 44 %）

教師側の指導や評価については、一定の理解が伺えるが、いじめや暴力、また生徒の悩み等の内容や配慮を要する事案についての対応や取り組みについては、評価が低いように感じる。個に応じた指導が年々増加傾向にあるが、教師と生徒の信頼関係については、生徒指導等の基盤ともなる為、高い水準を継続できるよう努めたい。

◆心を育てる教育に関する項目の肯定的意見の推移

7 「学校では、命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会が多い」	84 %→ 81 %→ 83 %	（とても： 44 %→ 44 %→ 46 %）
8 「学校では、人権の大切さについて学ぶ機会が多い」	87 %→ 78 %→ 83 %	（とても： 48 %→ 48 %→ 47 %）
9 「学校では、人の生き方や豊かな心のあり方について考える機会がある」	85 %→ 77 %→ 81 %	（とても： 38 %→ 40 %→ 40 %）

この項目については、どの意見も高い水準でほぼ横ばい状態となっている。これは、人権教育や道徳教育をはじめ、日頃の取り組みが生徒たちにも体感できるものとなっている証と言える。豊かな心を育む取り組みを通じて、より実践的な力を身に付けられるよう、今後も教育内容の充実に努めたい。

◆その他の推移

10 「学年通信、学校だよりなど学校から家庭へのお知らせがよくある」	91 %→ 85 %→ 85 %	（とても： 57 %→ 54 %→ 46 %）
13 「部活動に積極的に取り組んでいる（3年生→引退まで部活動に積極的に取り組んでいた）」	84 %→ 79 %→ 78 %	（とても： 60 %→ 59 %→ 60 %）
14 「まじめに清掃活動に取り組んでいる」	88 %→ 82 %→ 90 %	（とても： 53 %→ 55 %→ 46 %）

学校からの手紙に関する項目については、低くはないが、きちりと保護者までたどり着いているかが気になるところである。部活動については、コロナ禍で試合や練習にも制限がある中で、五中生は本当によく頑張っていると感じる。また、この項目の中で、清掃活動について、強肯定が低下するものの、全体的な肯定的意見が9割となり、高くなっていることは大変喜ばしい。

※数値は左から2019年度→2020年度→2021年度

<保護者編>

(肯定的意見：「とてもそう思う」・「そう思う」を合計した数値)

◆学校生活への肯定的意見の推移

1 子どもは、学校へ楽しそうに行っている	92 %→ 86 %→ 82 %	(とても： 49 %→ 46 %→ 39 %)
2 子どもは、学校には友達が多いと言っている	79 %→ 76 %→ 66 %	(とても： 35 %→ 35 %→ 23 %)
3 学校は、落ち着いた雰囲気、子どもたちは生き生きしている	68 %→ 75 %→ 60 %	(とても： 13 %→ 20 %→ 13 %)

この項目について、生徒同様に低下傾向が見られ、生徒よりも保護者の結果の方が低下傾向が強い。この傾向には、やはりコロナ禍の影響が大きいと感じる。また、友達との関わりは、保護者もここ数年少なくなってきたと感じているようだ。学校生活に様々な制限はあるものの、人とのつながりを強く大きくする取り組みをさらに進めていく必要がある。

◆学習への肯定的意見の推移

4 子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている	55 %→ 60 %→ 57 %	(とても： 7 %→ 10 %→ 9 %)
6 学習の分からないところについて、友達や先生に質問しやすいと言っている	63 %→ 64 %→ 66 %	(とても： 16 %→ 21 %→ 19 %)

この項目については、3年間ほぼ横ばいの状態となっているが、学校として、生徒が安心して学習に望める環境を整えられるよう、日々努めていかなくてはならない。また、教師一人ひとりが、指導方法の工夫改善に努め、楽しく力のつく授業づくりを目指していく必要がある。

◆保護者と先生のかかわりに関する項目の推移

5 先生は、子どもをよく理解してくれている	73 %→ 78 %→ 78 %	(とても： 23 %→ 28 %→ 24 %)
11 学校は、子どものことについて適切に相談に応じてくれる	76 %→ 77 %→ 78 %	(とても： 19 %→ 29 %→ 27 %)
12 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	72 %→ 72 %→ 66 %	(とても： 18 %→ 28 %→ 20 %)
15 学校の生活指導について共感できる(主に遅刻指導、忘れ物・提出物等について)	76 %→ 75 %→ 70 %	(とても： 24 %→ 30 %→ 23 %)
16 学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に、きめ細かく行っている	69 %→ 69 %→ 74 %	(とても： 18 %→ 26 %→ 22 %)

生徒への対応は一定の理解を得られているように感じるが、いじめや暴力に関する項目については肯定的意見が6ポイント下がっているとともに、生活指導への共感も若干の低下が見られる。家庭への連絡等、学校からの丁寧な対応は保護者に伝わっているようだが、学校の指導方針に関しては、今以上の理解が得られるよう、より一層、きめ細やかな対応が求められる。

◆心を育てる教育に関する項目の肯定的意見の推移

7 学校は、子どもに生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている	73 %→ 81 %→ 75 %	(とても： 25 %→ 30 %→ 21 %)
8 学校は、人権を大切にする態度を育てようとしている	80 %→ 81 %→ 75 %	(とても： 27 %→ 32 %→ 25 %)
9 学校は、自分の将来の生き方をよく考え、豊かな心をもった子どもを育てようとしている	66 %→ 70 %→ 66 %	(とても： 18 %→ 26 %→ 16 %)

この項目については、生徒の肯定的意見が高く出ていた一方で、保護者には強く伝わっていない傾向が読み取れる。人権教育や道徳教育をはじめ、学校の様々な豊かな心を育む取り組みに関して、保護者への発信も積極的に行い、理解を深めていくことが今後の課題と言える。

◆その他の推移

10 学年通信、学校だより、学校ホームページなどにより学校の様子をよく知ることができる	78 %→ 77 %→ 80 %	(とても： 26 %→ 33 %→ 23 %)
13 現在、子どもは積極的に部活動に参加している(3年生→引退まで、子どもは積極的に部活動に参加していた)	83 %→ 78 %→ 77 %	(とても： 59 %→ 60 %→ 55 %)
14 学校は、清掃がゆきとどいている	79 %→ 84 %→ 81 %	(とても： 28 %→ 40 %→ 37 %)

学校からの手紙等による発信については、肯定的意見の増加が見られ、保護者に届いていることが見てとれる。部活動については、コロナ禍の影響もあり、試合や練習に制限もあることが、数値が伸びていない結果につながっているとも感じ取れる。清掃の状況は、決して低い数値ではないが、保護者が学校に出向く機会が減少し、子どもたちが主体的に清掃活動に取り組んでいる様子が伝わりにくいことが考えられる。